

J1036 U.S. PTO
09/891393
06/27/01

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: June 30, 2000

Application Number: P2000-197477

Applicant(s): VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

March 23, 2001

Commissioner,
Patent Office

Kozo Oikawa

Number of Certification: 2001-3023766

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1036 U.S. PTO
09/891393
06/27/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 6月30日

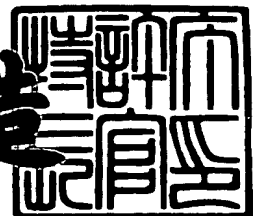
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-197477

出 願 人
Applicant(s): 日本ビクター株式会社

2001年 3月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3023766

【書類名】 特許願

【整理番号】 412000740

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

 【氏名】 徳江 純

【特許出願人】

 【識別番号】 000004329

 【氏名又は名称】 日本ビクター株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100092808

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 羽鳥 亘

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 007685

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ配信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツサーバと、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報と権利情報の記録エリアを擁するユーザ情報データベースと、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網を介してコンテンツの配信を行うコンテンツプロバイダーと、

メモ리카ードにダウンロードしたコンテンツを再生するメモ리카ード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利を前記コンテンツプロバイダーへ戻す再生権利返送機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤと、から構成され、

前記コンテンツプロバイダーは前記契約ユーザの携帯端末プレーヤへのコンテンツ配信の際に当該契約ユーザに対する当該コンテンツのダウンロード回数の管理を行い、前記契約ユーザが配信されたコンテンツの再生できる権利を前記コンテンツプロバイダーに戻す場合に前記携帯端末プレーヤはメモ리카ードに記録された当該コンテンツの再生の暗号化鍵及びファイル名登録を消去するとともに再生できる権利を前記ユーザ情報データベースの権利情報の記録エリアに返送するようにして、前記コンテンツプロバイダーは前記契約ユーザに対するコンテンツ配信管理を行うことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 2】 コンテンツサーバと、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報と権利情報の記録エリアを擁するユーザ情報データベースと、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網を介して SDMI のチェックアウト・チェックインルールにしたがってコンテンツの配信を行うコンテンツプロバイダーと、

メモ리카ードにダウンロードしたコンテンツを再生するメモ리카ード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利を前記コンテンツプロバイダーへ戻すチェックイン機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤと、から構成され、

前記コンテンツプロバイダーは前記契約ユーザの携帯端末プレーヤへのコンテンツ配信の際に当該契約ユーザに対する当該コンテンツのチェックアウト数の管理

を行い、前記契約ユーザが配信されたコンテンツを前記コンテンツプロバイダーにチェックインする場合に前記携帯端末プレーヤは当該コンテンツ再生の暗号化鍵及びファイル名登録を消去するとともに再生できる権利を前記ユーザ情報データベースの権利情報エリアに返送するようにして、前記コンテンツプロバイダーは前記契約ユーザに対するコンテンツ配信管理をSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行うことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項3】 コンテンツサーバと、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報と権利情報の記録エリアを擁するユーザ情報データベースと、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網を介してコンテンツの配信及びユーザからマイグレートされたコンテンツのコンテンツサーバへの保存と配信を行うコンテンツプロバイダーと、

メモリカードにダウンロードしたコンテンツを再生するメモリカード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利を前記コンテンツプロバイダーへ戻すチェックイン機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤと、から構成され、

前記契約ユーザは前記携帯端末プレーヤで前記コンテンツプロバイダーのコンテンツサーバにリッピングしたコンテンツをSDMI規定にしたがってマイグレートし、以後、前記コンテンツプロバイダーは契約ユーザに対する前記マイグレートされたコンテンツの配信管理をSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行うことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、音楽データを典型とするコンテンツを携帯端末プレーヤ（携帯電話、PHS等にメモリカードとその再生装置を組み合わせたもの。）に配信する技術分野に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、データ圧縮技術の進歩及び公衆電話回線網における伝送速度の改善、不

揮発性半導体メモリ容量の増加等を背景にして、インターネットやPHS網を用いて音楽等のコンテンツの配信を契約ユーザ（以下、ユーザとも称する。）のパーソナルコンピュータ（以下、PCとも称する。）または携帯端末（携帯電話、PHSを含む）またはキヨスクの端末等で受け、これをオーディオ機器にて聴くという新しいスタイルのコンテンツ配信システムが既に一部実用化されてきている。

【0003】

一般的には、図3のコンテンツ配信システムの構成図に示されるように、音楽等のコンテンツはコンテンツサーバ1と、各ユーザのコンテンツのダウンロード情報3等を蓄積するユーザ情報データベース5'と、を備えるコンテンツプロバイダー10からMP3やATRAC、AAC等の圧縮技術を用いて音質の劣化を最小限に留めてこれを公衆電話回線網6を介してユーザに暗号化して伝送し、ユーザは自宅19のPC13のHDD14に一旦ダウンロードしてコンテンツを蓄積しておき、聴きたい時はコンテンツをメモリカード11（フラッシュEPROM等の不揮発性半導体メモリを内蔵するカードであり、メディアカードとも称される。）にコピーして、例えばポータブルタイプのオーディオプレーヤ15（以下、PD（Portable Device）と略称する。）を用いて聴く事になる。

【0004】

以下、コンテンツプロバイダー10からユーザのPC13へ配信を受ける手順を述べると、先ずユーザはPC13でコンテンツプロバイダ10のHPを開き、メニューの中から選曲する。選曲されたコンテンツは暗号化され、ユーザのPC13（音楽コンテンツの配信を受けることを許可されたPCで一般にLCM（Licensed Compliant Module）と称される。）に公衆電話回線網6を介して伝送される。

【0005】

ユーザはダウンロードされたコンテンツ及び暗号化鍵をPC13内のHDD14に保存する。コンテンツについては暗号化されたまま保存され、ユーザはPC13付随のファイル管理アプリケーションソフトでその存在を確認できる。しかし暗号化鍵についてはPCのどこに保存されているかユーザに判らないようにな

っている。

【0006】

上記PC13のHDD14に保存されたコンテンツはUSB等のI/FよりPD15又はメモ리카ード11にコピーする事ができる。但し、SDMI (Secure Digital Music Initiative; デジタルネットワークによる音楽の供給と販売の標準フォーマットを作る国際的プロジェクト) が発表した「Guide to the SDMI Portable Device Specification」では、上記のような音楽コンテンツの配信を受けたPC13のHDD14からコンテンツをメモ리카ード11にコピーする際、コピー回数を4回までに制限している。したがって、もし5つ目のコピーを作成したい場合、既にコピーされたコンテンツを一度PCに戻さなければならない。上記のようにコピー回数を管理したコピー手順をチェックイン・チェックアウトルールと呼び、PC13の外にコピーを作成する手順をチェックアウトC_{OUT}、PC13の中に戻す手順をチェックインC_{IN}と呼ぶ。

【0007】

上記チェックアウトC_{OUT}の時は実際にコンテンツのデータがPC13からメモ리카ード11にダウンロードされるが、チェックインC_{IN}時は再生できる権利Mのみがメモ리카ード11からPC13に移動し、メモ리카ード11内の暗号化鍵及びファイル名登録は消去される。なお、新しいコンテンツがメモ리카ード11内に記録される場合は、暗号化鍵及びファイル名登録が消去された既存のコンテンツは上書きされる。

【0008】

一方、配信を受けて携帯端末21のメモ리카ード11にダウンロードしたコンテンツは事前に著作権保護処理（電子透かし（ウォーターマーク）等の技術でマーキングしておき、当該コンテンツが著作権保護のなされた正当なコンテンツか否かを判定するためのスクリーニング処理。）がなされており、その携帯端末21が携帯電話やPHS等にPDを組み合わせた装置（以下、携帯端末プレーヤ20'と云う。）であればこのままコンテンツを再生できる。そしてこのコンテンツは一度だけPC13に移動（ムーブ）が許可され、メモ리카ード11内のコンテンツを消去する事を前提にカードが一杯になった時PC13のHDD14に保

存ができる。しかし一度PC13に移動した後は先に述べたチェックイン・チェックアウトルールに従いコピー数が制限されたコンテンツ管理がなされる。

【0009】

このようにSDMIでは、携帯端末プレーヤ20のメモ리카ード11に配信されたコンテンツに関しては、既に著作権保護処理（スクリーニング処理）がなされている事を前提に、1度のみPC（LCM）への移動を許可しており、これをムーブと呼ぶ。また、パッケージメディアから直接メモ리카ード11に書き込まれたコンテンツに関しては、メモ리카ード11に書き込まれる前に前記著作権保護処理（スクリーニング処理）が行われる事を前提にして1度のみPC（LCM）への移動を許可しており、これをマイグレイト（MIGRATE）と呼ぶ。

【0010】

ところで、SDMIではコンテンツの配信を受けるPC13とコピーするメモ리카ード11とPD15との関係について図4の（a）、（b）、（c）に示される3つのカテゴリーを想定している。

【0011】

先ず、図4（a）のカテゴリー1は、PD13内部にコンテンツを記録する不揮発性半導体メモリチップ31が部品として実装されており、当該PD15aでのみPC13のHDD14にダウンロードされたコンテンツをコピーして再生できるタイプである。

【0012】

次に、図4（b）のカテゴリー2は、PC13に接続されたPD15bのID番号とメモ리카ード11'のID番号（固定）を読み取って、この両者のID番号を鍵としてコンテンツを暗号化してメモ리카ード11'に記録する。一旦メモ리카ード11'に記録したコンテンツはPC13に戻せない。したがって、PC13からコンテンツの外へのコピーは4回行えば終了し、且つ他の同型のPDでもそのID番号が違っているので当該メモ리카ード11'に記録されたコンテンツはコピーした際のPD15bのみでしか再生できない。このカテゴリー2は極めてセキュリティが強いが反面でメモ리카ード11'の融通性に欠け、ユーザにとっては利便性に問題がある。

【0013】

次に、図4(c)のカテゴリ-3は、マイクロコンピュータ(CPU)と不揮発性半導体メモリを内蔵するメモリカード11を使用し、PC13と前記メモリカード11とPD15cが互いにセキュリティを認証し合って再生の互換性が取れるようになっている。そして暗号化鍵はリード/ライトが可能である。したがって、セキュリティが確保されたPDならどれでもカードR/W12でメモリカード11に記録された暗号化されたコンテンツを聴けることになる。このカテゴリ-3はユーザにとって最も利便性に富むものといえ、将来的にコンテンツ配信システムの主流になると考えられる。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】

上記カテゴリ-3では、一度PC13にダウンロードしたコンテンツは以後、SDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがってユーザが管理する事になるが、この場合下記に述べる不具合が発生する。

【0015】

もしPC13内のHDD14がフルになった場合又はPC13を買い換えた場合、ユーザは自分又はPCメーカーのサービスセンターに出向いて新しいHDDにコンテンツを入れ替えなくてはならない。更にHDD14が破損した場合、配信側でユーザの購入ログ情報を基に再度ダウンロードしなくてはならず、通信費を考えると一度に全コンテンツを再入手する事を断念する事になってしまう。

【0016】

また、CPU内蔵のメモリカード11自体が極めて高価であるため(2万円程度)、ミニディスク(200円程度)のようにユーザが複数枚持ち歩く事は困難と思われる。

【0017】

そのためユーザは1、2枚のメモリカード11に入るコンテンツ(1時間又は2時間分)しか持ち歩けず、新規に曲をメモリカード11に入れるためには自宅に戻って再度PC13からコピーし直すか、携帯端末プレーヤ20'であれば新規に曲をコンテンツプロバイダー10から購入してダウンロードしなければなら

ない。特に既に購入した曲に関しては再度購入する事は考えられないのでユーザは不便を感じる事になる。

【 0 0 1 8 】

また、外出先でユーザの所有するCD等のパッケージメディアからメモリカード11にリッピングした曲は前記携帯端末プレーヤ20'でも聴くことができるが、前述のとおりCPU内蔵のメモリカード11は高価であって、多数のコンテンツを該メモリカード11に入れて持ち運ぶことは難しい。他方、従来考えられている配信システムでは、コンテンツプロバイダー10のコンテンツサーバ1のコンテンツのみが配信の対象になっていて、ユーザ側のコンテンツの蓄積とその配信は想定されていない。

【 0 0 1 9 】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、ユーザに上記の手間と費用を省かせ、1枚のメモリカードでも自由にコンテンツの配信を受ける事を可能にするコンテンツ配信システムを提供する。

【 0 0 2 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するために、

(1) コンテンツサーバ1と、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報3と権利情報4の記録エリアを擁するユーザ情報データベース5と、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網6を介してコンテンツの配信を行うコンテンツプロバイダー30と、メモリカード11にダウンロードしたコンテンツを再生するメモリカード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利Mを前記コンテンツプロバイダー30へ戻す再生権利返送機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤ20と、から構成され、前記コンテンツプロバイダー30は前記契約ユーザの携帯端末プレーヤ20へのコンテンツ配信の際に当該契約ユーザに対する当該コンテンツのダウンロード回数の管理を行い、前記契約ユーザが配信されたコンテンツの再生できる権利Mを前記コンテンツプロバイダー30に戻す場合に前記携帯端末プレーヤ20はメモリカード11に記録された当該コンテンツの再生の暗号化鍵及びファイル名登録を消去するとともに再生できる権利

Mを前記ユーザ情報データベース5の権利情報の記録エリア4に返送するようにして、前記コンテンツプロバイダー30は前記契約ユーザに対するコンテンツ配信管理を行うことを特徴とするコンテンツ配信システム40を提供する。

(2) 特に、コンテンツサーバ1と、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報3と権利情報4の記録エリアを擁するユーザ情報データベース5と、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網6を介してSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがってコンテンツの配信を行うコンテンツプロバイダー30と、メモ리카ード11にダウンロードしたコンテンツを再生するメモ리카ード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利Mを前記コンテンツプロバイダー30へ戻すチェックイン機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤ20と、から構成され、前記コンテンツプロバイダー30は前記契約ユーザの携帯端末プレーヤ20へのコンテンツ配信の際に当該契約ユーザに対する当該コンテンツのチェックアウト数の管理を行い、前記契約ユーザが配信されたコンテンツを前記コンテンツプロバイダー30にチェックインする場合に前記携帯端末プレーヤ20は当該コンテンツ再生の暗号化鍵及びファイル名登録を消去するとともに再生できる権利Mを前記ユーザ情報データベース5の権利情報4の記録エリアに返送するようにして、前記コンテンツプロバイダー30は前記契約ユーザに対するコンテンツ配信管理をSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行うことを特徴とするコンテンツ配信システム40を提供する。

(3) また、コンテンツサーバ1と、各契約ユーザのコンテンツのダウンロード情報と権利情報4の記録エリアを擁するユーザ情報データベース5と、を備えて契約ユーザへ公衆電話回線網6を介してコンテンツの配信及びユーザからマイグレートされたコンテンツのコンテンツサーバ1への保存と配信を行うコンテンツプロバイダー31と、メモ리카ード11にダウンロードしたコンテンツを再生するメモ리카ード再生機能と、ダウンロードしたコンテンツを再生できる権利Mを前記コンテンツプロバイダー31へ戻すチェックイン機能を備えた契約ユーザの所持する携帯端末プレーヤ20と、から構成され、前記契約ユーザは前記携帯端末プレーヤ20で前記コンテンツプロバイダー31のコンテンツサーバ1にリ

ッピングしたコンテンツをSDMI規定にしたがってマイグレートし、以後、前記コンテンツプロバイダー31は契約ユーザに対する前記マイグレートされたコンテンツの配信管理をSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行うことを特徴とするコンテンツ配信システム50を提供する。

【0021】

比喩的に云えば、本発明のコンテンツ配信システム40、50は、あたかもユーザの自宅19の配信を受けるPC13の代わりにコンテンツプロバイダー30、31のコンテンツサーバ1を用いてコンテンツのチェックイン・チェックアウトのコンテンツ管理を行う配信システムである。さらにコンテンツ配信システム50では、ユーザの所有するコンテンツをSDMI規定のマイグレートを利用して一旦コンテンツプロバイダー31のコンテンツサーバ1へ保存して、以後前記と同様のチェックイン・チェックアウトのコンテンツ管理を行うシステムである。

【0022】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。なお、以下のメモリカード11はCPU内蔵のメモリカードを意味する。

【0023】

図1は本発明に係る第1のコンテンツ配信システム40の構成図であり、図2は本発明に係る第2のコンテンツ配信システム50の構成図である。

【0024】

図1において、本発明の提案するコンテンツ配信システム40では、配信を行うコンテンツプロバイダー30から携帯端末プレーヤ20でユーザが曲を購入した場合、携帯端末プレーヤ20にダウンロードさせつつ、コンテンツプロバイダー30でコンテンツサーバ1内にユーザ個々の権利情報を蓄積する記録エリア4を設ける。以降一度購入ダウンロードしたコンテンツに関してユーザはあと3回分無料でダウンロードする事を許可するようにして、SDMIのチェックイン・チェックアウトルールと同じコンテンツ管理を行う。即ち、もしユーザが配信を受けたコンテンツをコンテンツプロバイダー30に戻したい場合、携帯端末プレー

ーヤ 20 はコンテンツ再生の暗号化鍵を消去し、再生できる権利 M をコンテンツプロバイダー 30 のユーザ情報データベース 5 の権利情報記録エリア 4 内に戻す（チェックイン）のである。

【0025】

本システムの場合、コンテンツをメモリカード 11 にダウンロードする時（チェックアウト C_{OUT} 時）はコンテンツデータの移動を伴うが、コンテンツを戻す時（チェックイン C_{IN} 時）は、コンテンツの再生できる権利 M の情報のみが伝送されるだけなので情報量が少なく済み、瞬時に終わって通信料は僅かである。

【0026】

コンテンツプロバイダー 30 は従来のユーザ情報データベース 5 の中に各ユーザ毎に各コンテンツのチェックイン・チェックアウト数と再生できる権利 M の情報の記録エリア 4 を追加しておけばよい。

【0027】

このようにコンテンツプロバイダー 30 とユーザの所持する携帯端末プレーヤ 20 とで SDMI のチェックイン・チェックアウトルールの特性を活用したコンテンツ管理を行えば、ユーザは自前の PC を用意する必要もなく、また購入済みのコンテンツについては携帯電話サービスエリア内であれば通信料のみの課金でリストアできる。而してたとえメモリカード 11 が 1 枚しかなくてもメモリカード容量以上のコンテンツを外出先で入れ替えて聴く事ができる。

【0028】

次に、前述のように SDMI では、ユーザ自前のパッケージメディアから直接メモリカード 11 に書き込まれたコンテンツに関しては、メモリカード 11 に書き込まれる前に前記著作権保護処理（スクリーニング処理）が行われる事を前提にして、1 度のみ PC（LCM）への移動を許可するマイグレイトを規定している。

【0029】

したがって、図 2 のコンテンツ配信システム 50 のように、携帯端末プレーヤ 20 からコンテンツプロバイダー 31 へユーザが自前でリッピングマシン 18 で CD 等のパッケージメディア 17 からメモリカード 11 にスクリーニング処理し

てリッピングしたコンテンツC yをSDMI規定にしたがってマイグレイト (M I G R A T E) してコンテンツサーバ1に保存し、以後、コンテンツプロバイダー31からユーザへこのコンテンツC yの配信をSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行うようにすると、ユーザが所有するパッケージメディア等からリッピングしたコンテンツC yに関してもチェックイン・チェックアウトルールのコンテンツ管理の下で外出先の携帯端末プレーヤ20にダウンロードできることになる。

【0030】

なお、最初のマイグレイトと以後のコンテンツプロバイダー31からユーザの携帯端末プレーヤ20へのチェックアウト (ダウンロード) に関してはデータ伝送に多少の時間を要するが、携帯電話網やPHS網の伝送速度の高速化によって解決されるので支障は無い。

【0031】

【発明の効果】

本発明に係るコンテンツ配信システムは、

(1) コンテンツプロバイダーからユーザの携帯端末プレーヤへのコンテンツのダウンロードがSDMIのチェックイン・チェックアウトルールにしたがって行われるので、ユーザはメモリカード内のコンテンツを外出先で自由に入れ替えてダウンロードすることができ、メモリカードの容量以上のコンテンツを楽しむことができる。

【0032】

(2) チェックインは再生できる権利の情報のみの伝送なので通信費の課金は僅かである。

【0033】

(3) ユーザ自身の所有するパッケージメディア等のコンテンツがコンテンツプロバイダーのコンテンツサーバにマイグレイトして保存されるので、ユーザは外出先で携帯端末プレーヤにこれをダウンロードして楽しむことができる。

【0034】

(4) SDMI規定に適合したコンテンツ管理が行われるので、セキュリティ

に優れ、汎用性に富む。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る第 1 のコンテンツ配信システムの構成図である。

【図 2】

本発明に係る第 2 のコンテンツ配信システムの構成図である。

【図 3】

従来のコンテンツ配信システムの構成図である。

【図 4】

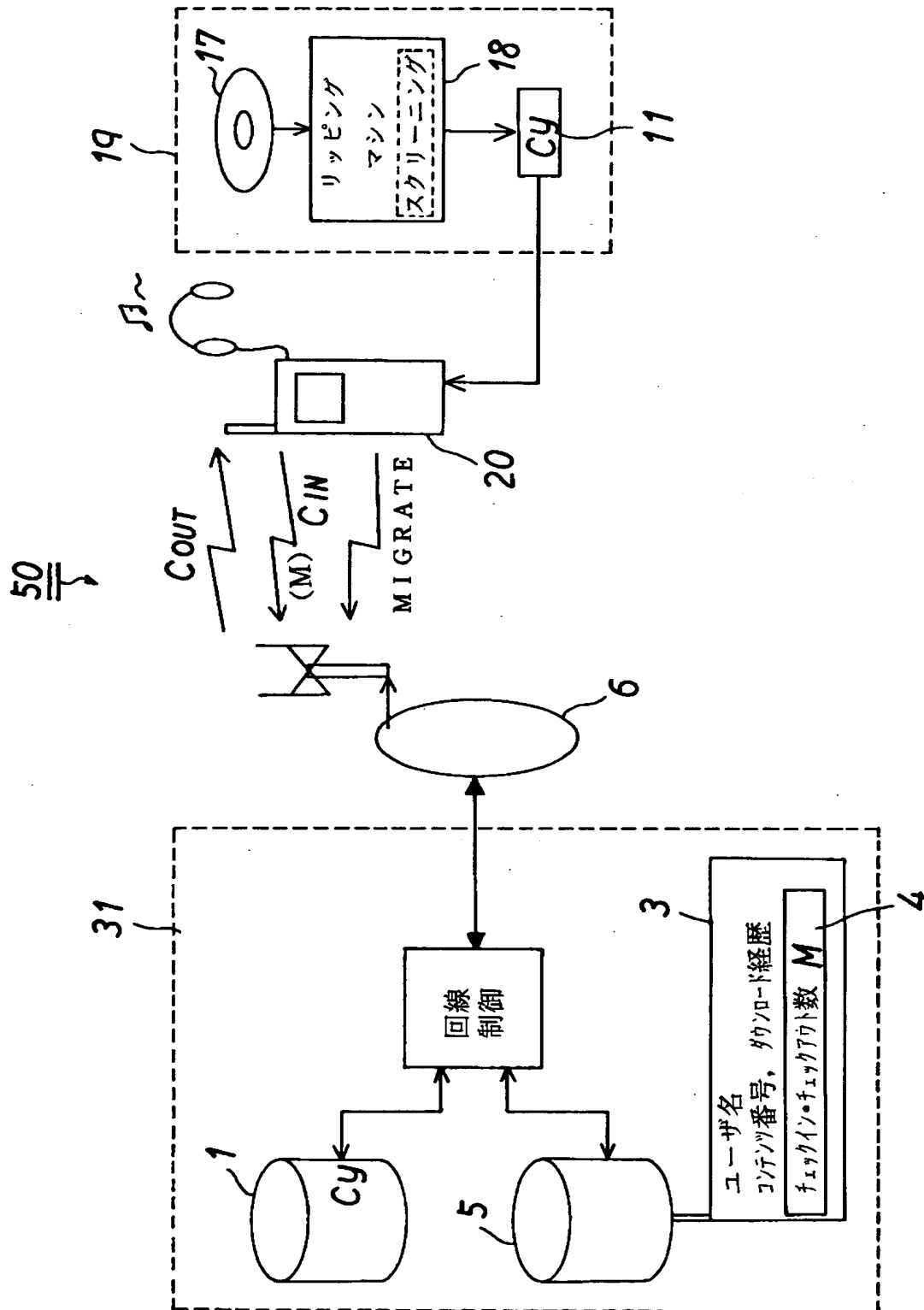
S D M I の想定するコンテンツの配信を受ける P C (L C M) とメモ리카ードと P D の 3 つのカテゴリーを説明する構成図である。

【符号の説明】

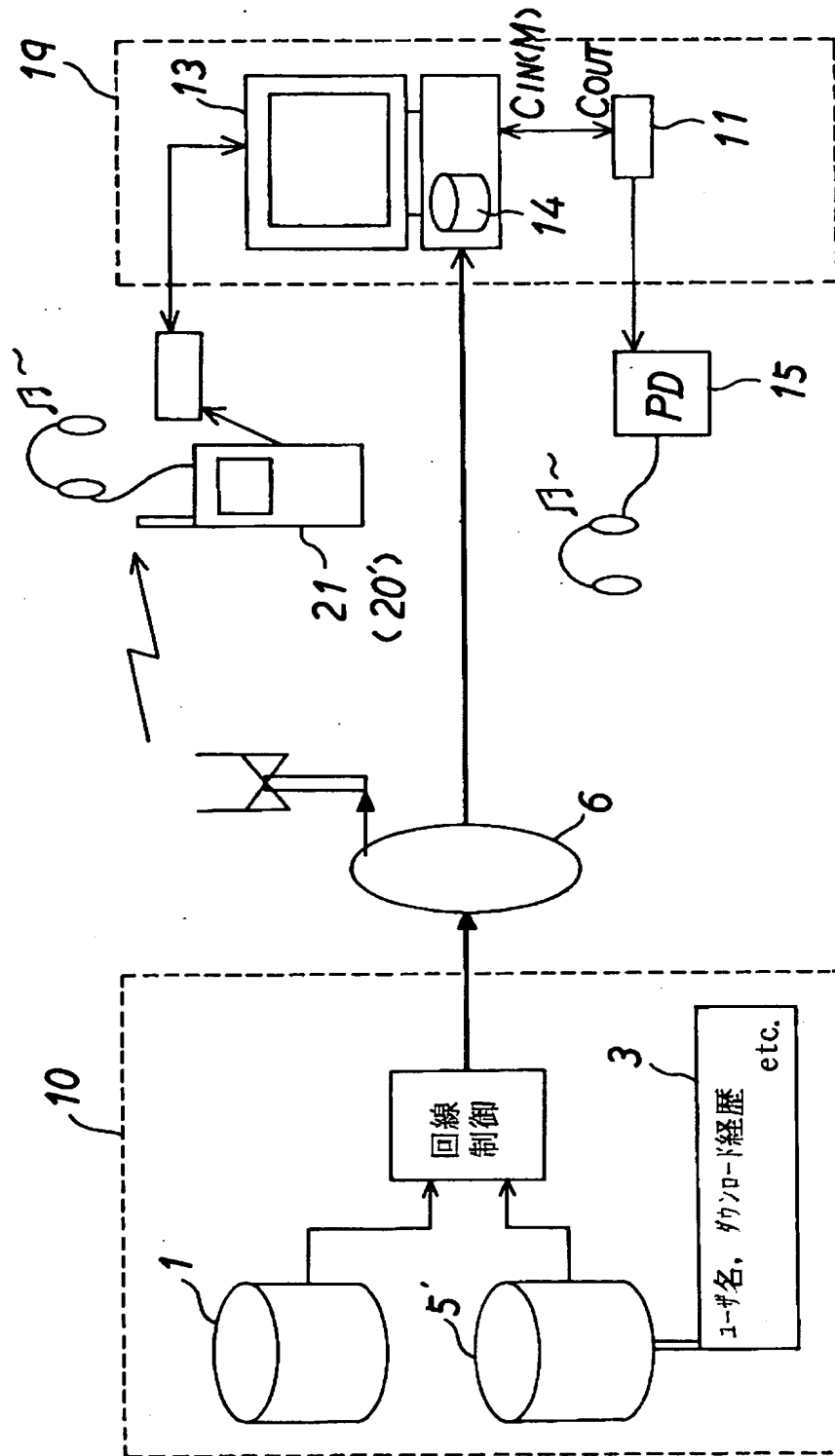
- 1 コンテンツサーバ
- 3 ダウンロード情報
- 4 権利情報
- 5、5' ユーザ情報データベース
- 6 公衆電話回線網
- 1 0、3 0、3 1 コンテンツプロバイダー
- 1 1 C P U 内蔵のメモ리카ード
- 1 1' メモ리카ード
- 1 2 カード R / W
- 1 3 P C (パーソナルコンピュータ)
- 1 4 H D D
- 1 5、1 5 a、1 5 b、1 5 c P D
- 1 7 パッケージメディア
- 1 8 リッピングマシン
- 1 9 ユーザの自宅
- 2 0 携帯端末プレーヤ
- 2 1 携帯端末

M 再生できる権利
4 0、5 0 コンテンツ配信システム
C y リッピングしたコンテンツ

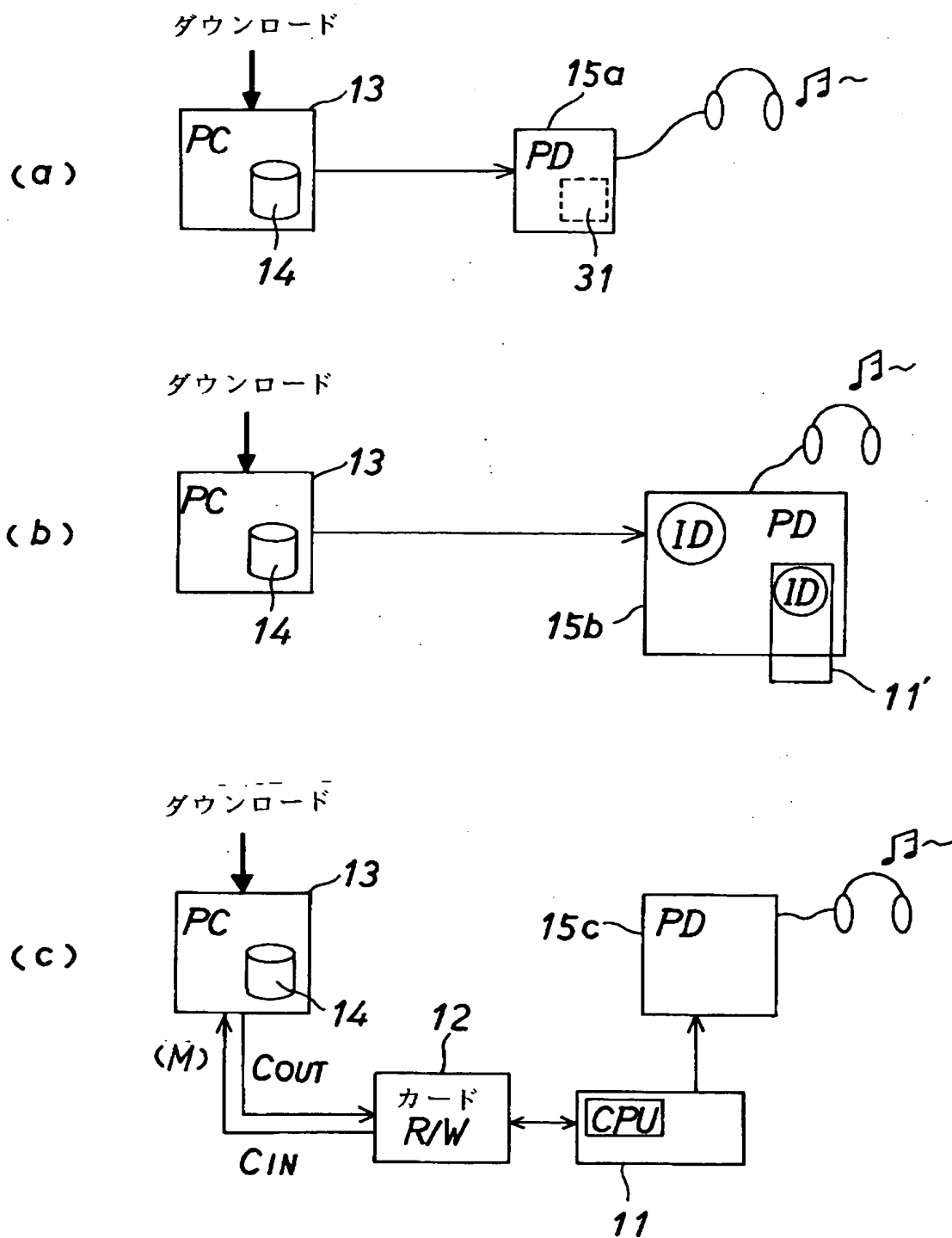
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 携帯端末プレーヤ対応のコンテンツ配信システムを提供する。

【構成】 コンテンツ配信システム40は、コンテンツサーバ1とユーザのダウンロード情報3と権利情報4を擁するユーザ情報データベース5とを備えて公衆電話回線網6を介してSDMIのチェックイン・チェックアウトルールで配信を行うコンテンツプロバイダー30と、メモリカード11にダウンロードしたコンテンツを再生するメモリカード再生機能と再生できる権利Mをコンテンツプロバイダー30へ戻すチェックイン機能を備えたユーザの携帯端末プレーヤ20と、から構成され、コンテンツプロバイダー30は携帯端末プレーヤ20への配信の際に当該ユーザに対するコンテンツのチェックアウト数の管理を行い、ユーザが配信されたコンテンツをチェックインする場合に前記携帯端末プレーヤ20は当該コンテンツ再生の暗号化鍵及びファイル名登録を消去するとともに再生できる権利Mを前記ユーザ情報データベース5の権利情報4に返送するようにして、コンテンツプロバイダー30はチェックイン・チェックアウトルールに基づきコンテンツ配信管理を行う。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-197477
受付番号	50000821078
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成12年 7月 3日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 6月30日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004329]

1. 変更年月日 1990年 8月 8日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地
氏 名 日本ビクター株式会社